

# FAMOS 6.1



comprehensive data processing and signals analysis framework

## What's New FAMOS 6.1

株式会社東陽テクニカ  
営業第2部

# 目次

1.1	FAMOS グレードについて .....	3
1.2	対応 OS について .....	3
1.3	基本変更点 .....	3
1.3.1	ライセンスマネージャ .....	3
1.3.2	英語とドイツ語のシーケンス .....	3
1.3.3	プロジェクト .....	3
1.3.4	その他 .....	3
1.4	変数リスト .....	4
1.5	関数 .....	4
1.5.1	カーブマネージャキット .....	4
1.5.2	FFT .....	4
1.5.3	FileLineWrite .....	4
1.5.4	GetLastError .....	5
1.5.5	PSampEx .....	5
1.5.6	Red2 .....	5
1.6	データブラウザ .....	5
1.7	カーブウィンドウ .....	5
1.7.1	軸 .....	5
1.7.2	キャンベル線図 .....	5
1.7.3	再処理された信号 .....	6
1.7.3.1	XY データ .....	6
1.7.3.2	乗算 .....	6
1.7.4	マーカー .....	6
1.7.5	バーメーター .....	6
1.7.6	背景のイメージと地図 .....	6
1.7.7	ポーラー線図 .....	8
1.7.8	波形の詳細設定 .....	9
1.7.9	その他 .....	10

## 1.1 FAMOS グレードについて

FAMOS 6.1では以下4つのグレードを準備しております。

### FAMOS Reader

波形表示を主としたビューワーソフトです。解析機能は含んでおりません。

### FAMOS Standard

Readerに基本演算処理用関数を加えたグレードです。シーケンスの作成も可能です。

### FAMOS Professional

Standardに周波数分析キットとビデオキットを加えたグレードです。

### FAMOS Enterprise

Professionalに次数分析キット、頻度処理キット、ASAM-ODSキットを加えたグレードです。

## 1.2 対応OSについて

FAMOS 6.1では以下のWindows OSおよびWindows Server OSに対応しております。

Windows XP (SP2), Windows Vista, Windows 7

Windows 2003 Server, Windows 2008 Server

## 1.3 基本変更点

### 1.3.1 ライセンスマネージャ

FAMOS 6.0までは dongle キー (ハードロックキー) でライセンスを管理しておりましたが、FAMOS 6.1ではライセンスマネージャによるライセンスコードの管理となります。

### 1.3.2 英語とドイツ語のシーケンス

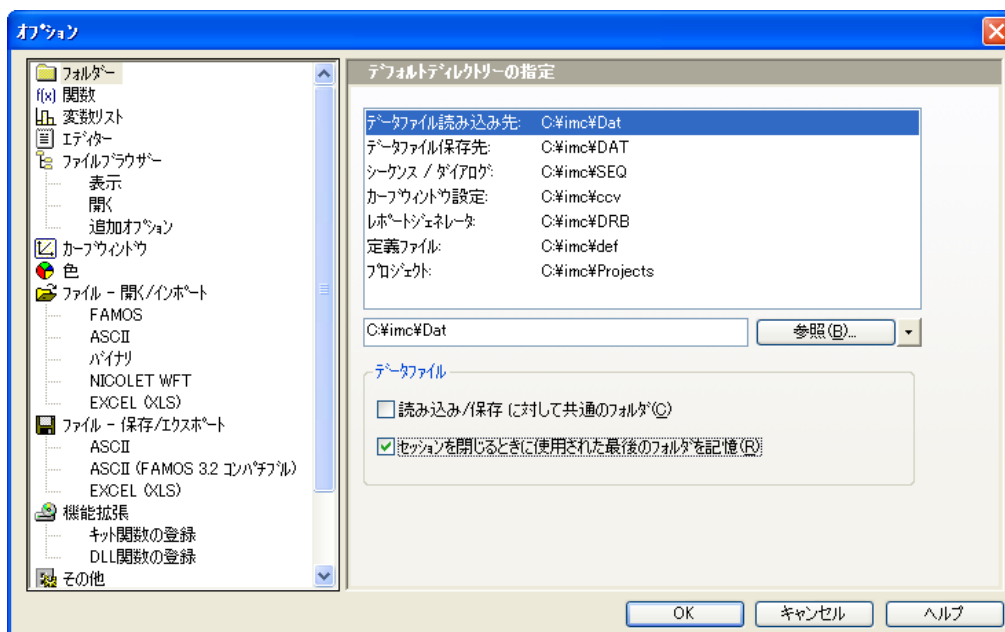
英語とドイツ語のシーケンスの双方を実行できるようになりました。

### 1.3.3 プロジェクト

プロジェクトをFAMOSメニューの”プロジェクト/パック”から保存できるようになりました。

### 1.3.4 その他

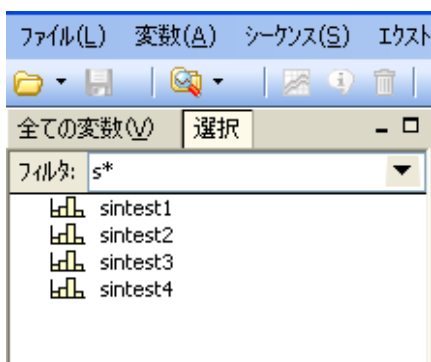
- ・波形エディターにおいて、チャンネル名称の横に単位が表示されるようになりました。
- ・ファイル読み込み先フォルダおよび保存先フォルダを記憶させることができるようになりました。設定はFAMOSメニューの”エクストラ/オプション”から実施してください。



・変数名に@が使用できなくなりました。(FAMOS 6.0以降)

## 1.4 変数リスト

・変数リストにフィルタ機能が追加されました。



・グループ内の変数をアルファベット順に並び変えることができるようになりました。

## 1.5 関数

### 1.5.1 カーブマネージャキット

カーブウィンドウをコントロールする関数が追加されました。

### 1.5.2 FFT

FFT関数のデータ点数を8,388,608点( $2^{23}$ )まで指定できるようになりました。

### 1.5.3 FileLineWrite

FileLineWrite関数の最後のメーターに新しいオプションが追加されました。 1 = No line feed

#### 1.5.4 GetLastError

最後のエラーをテキストで取得できるようになりました。

#### 1.5.5 PsampEx

Prototype-resampling リサンプリングの際補間方法を選択できるようになりました。

#### 1.5.6 Red2

Red2関数のデータ点数を8,388,608点( $2^{23}$ )まで指定できるようになりました。

### 1.6 データブラウザ

- ・データブラウザをコントロールするキット関数が追加されました。
- ・透過プロパティが追加されました。
- ・ツールボックスに新たに”形状”(四角、丸、楕円など)が追加されました。  
これに伴いラインエレメントは”標準”から”形状”に移行されました。
- ・ツールボックス”標準”にスイッチボックスエレメントが追加されました。
- ・各ページに対してグリッドの設定ができるようになりました。
- ・測定リストにおいてデータの表示方法を選択できるようになりました。表示方法についてはオプション/詳細オプションから選択願います。
- ・選択しているカーブウィンドウを関数にてコントロールする可能になりました。
- ・ページ設定が追加されました。
- ・ページ単位でのPDF出力が可能になりました。
- ・プレースホルダーが拡張されました。

### 1.7 カーブウィンドウ

#### 1.7.1 軸

- ・フォントサイズ、色、線種などを軸毎に個別に設定できるようになりました。
- ・軸端の位置をマウスで自由に移動することができるようになりました。
- ・X軸とZ軸のラベルとしてチャンネル名称が利用できるようになりました。
- ・3D表示においてチャンネル名称を軸ラベルに割り当てることができるようになりました。
- ・軸の目盛をデフォルトとして保存できるようになりました。

#### 1.7.2 キャンベル線図

キャンベル線図にグリッドを適用できるようになりました。

## 1.7.3 再処理された信号

### 1.7.3.1 XYデータ

全ての測定データをXY表示することが可能になりました。

### 1.7.3.2 乗算

乗算関数が拡張されました。

## 1.7.4 マーカー

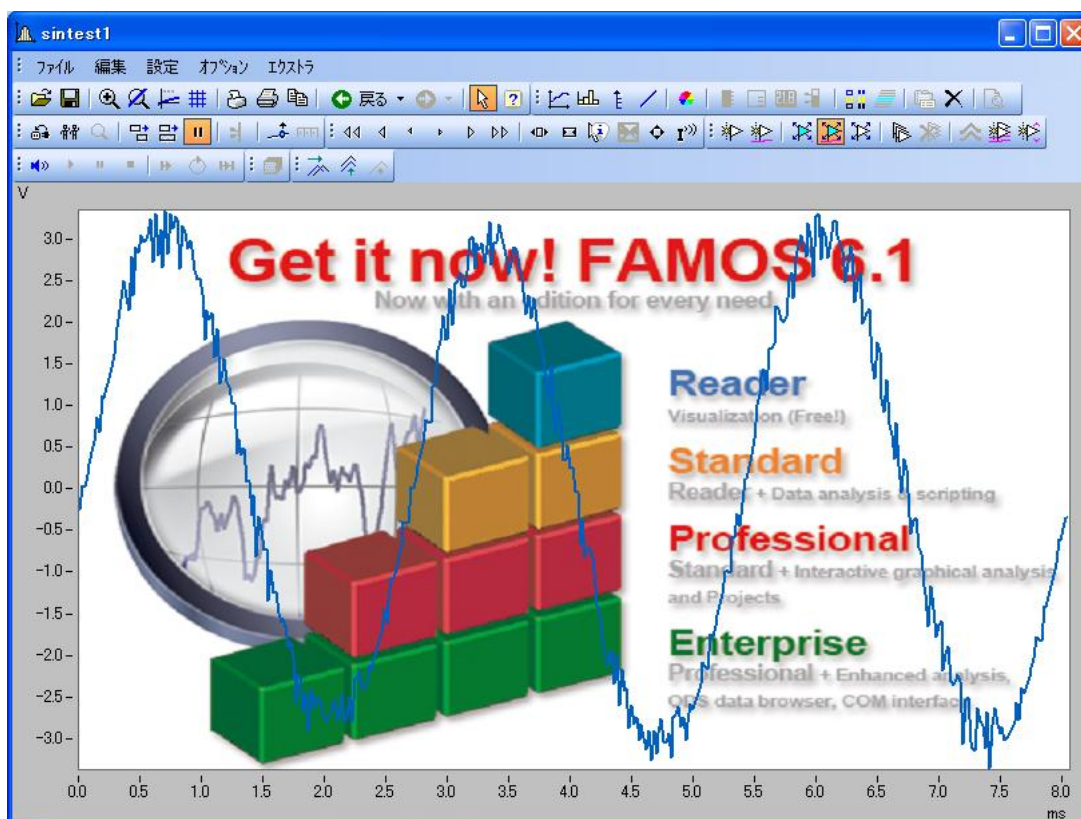
- ・垂直ライン、水平ラインをマーカーとして表示させることができるようになりました。
- ・マーカーテキストを座標外に配置できるようになりました。
- ・マーカーはテキストのみを表示できるようになりました。
- ・マーカー形状をデフォルトとして保存できるようになりました。

## 1.7.5 バーメーター

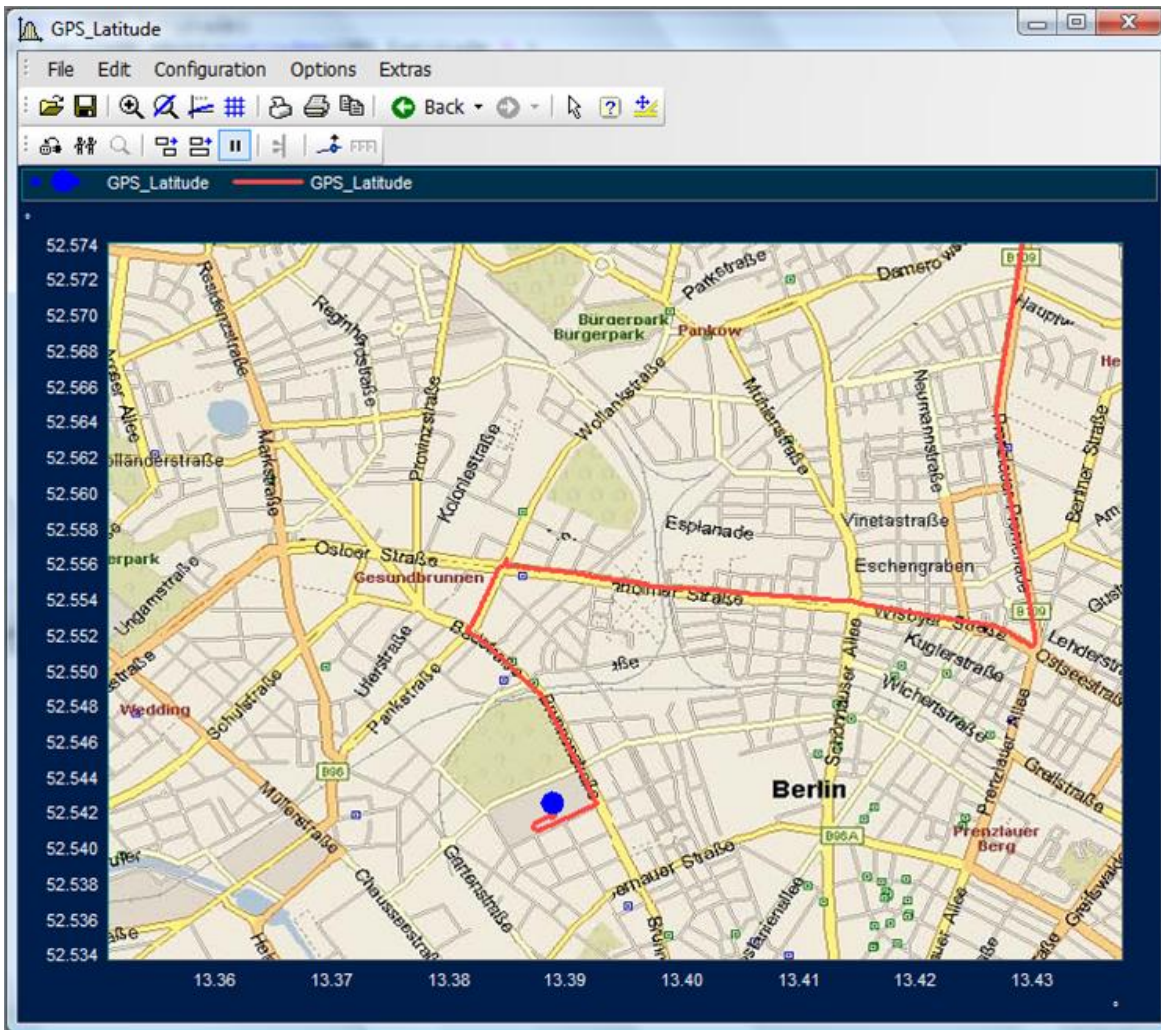
- ・スレーブポイントの外観として”ライン”を選択できるようになりました。
- ・入力レンジをマーキングできるようになりました。
- ・スレーブポイントの色を変更できるようになりました。
- ・指定したレベルを超えるとメーター色を変更できるようになりました。

## 1.7.6 背景のイメージと地図

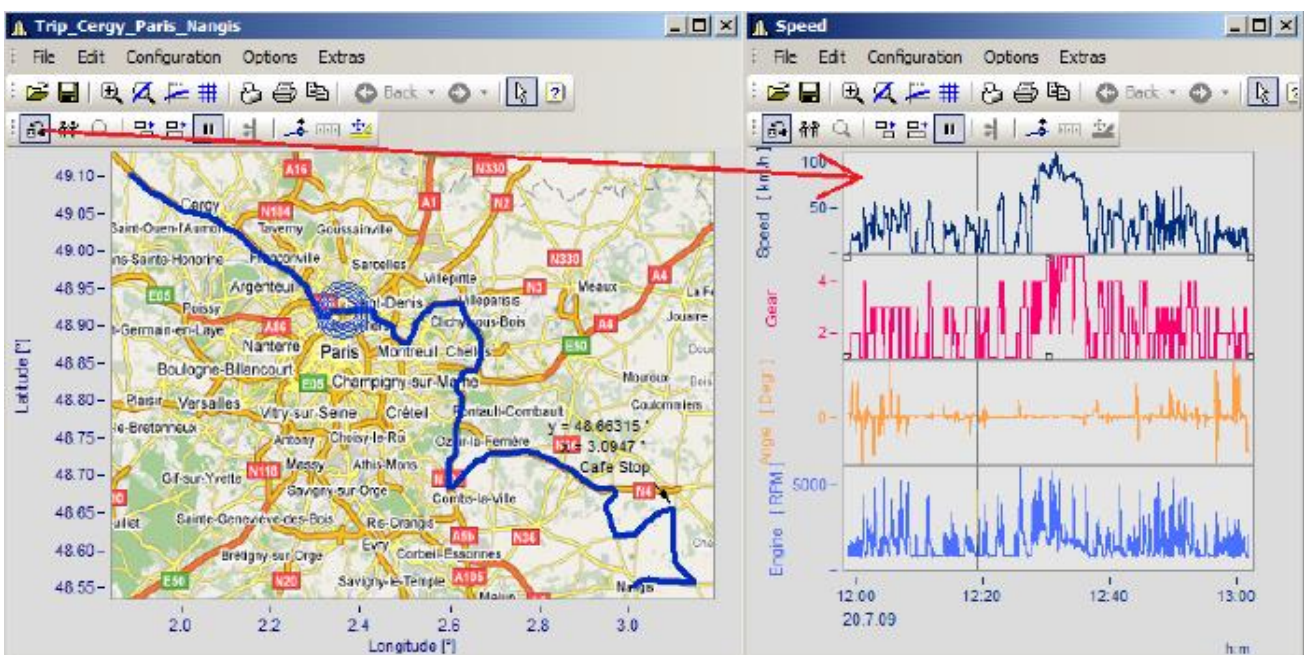
ピクチャを背景として利用できるようになりました。



地図を背景として利用できるようになりました。

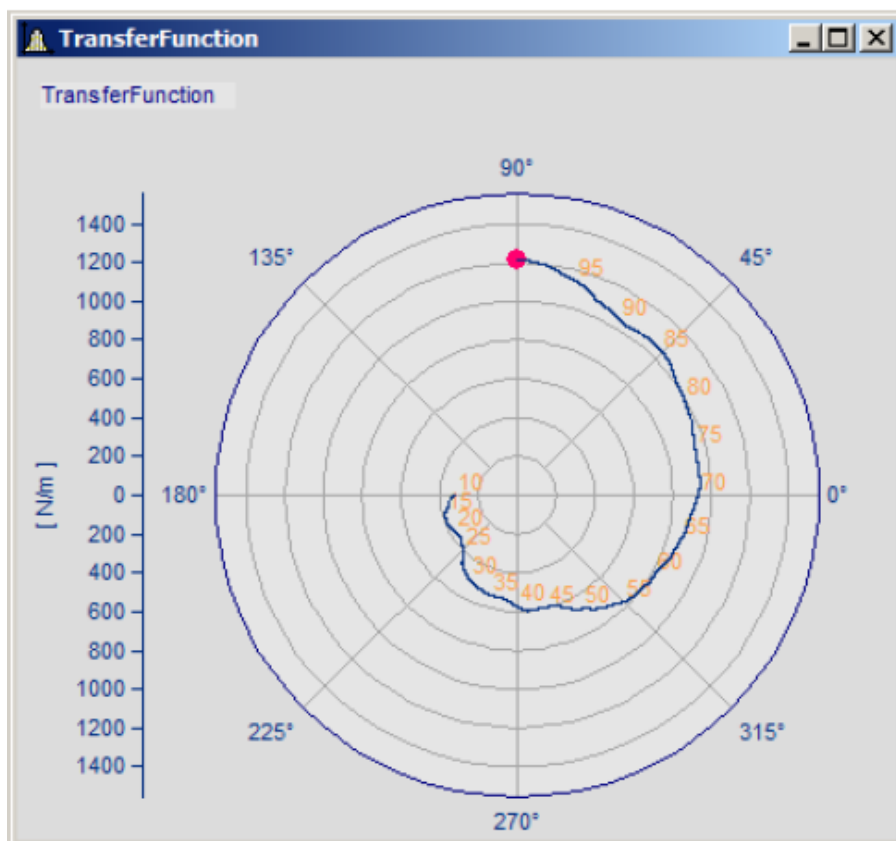
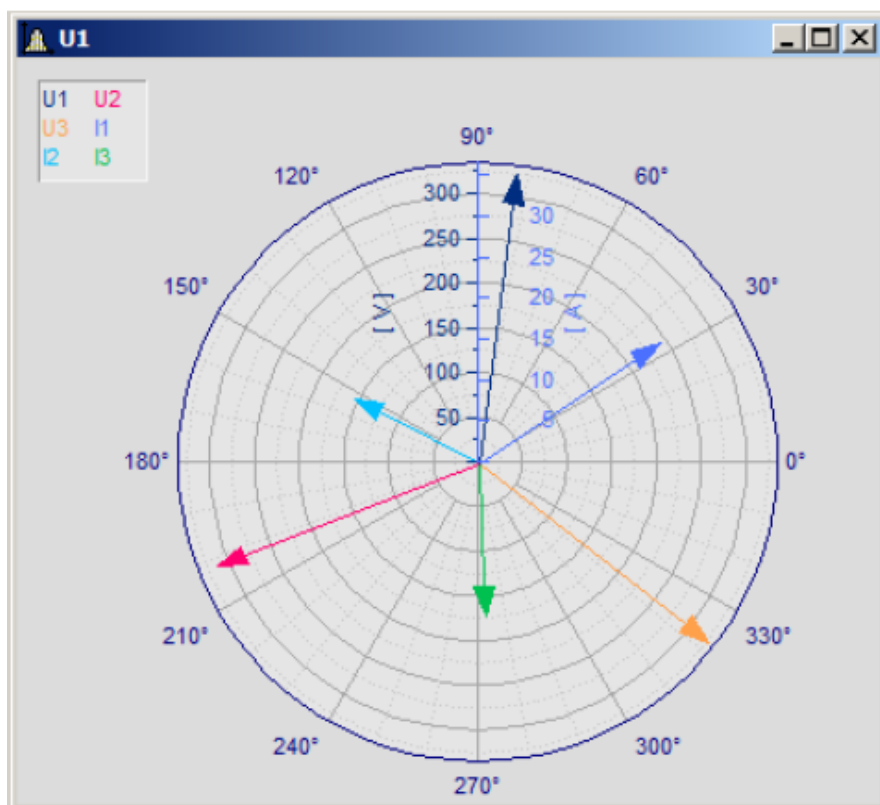


地図データは時系列波形とリンクすることができます。



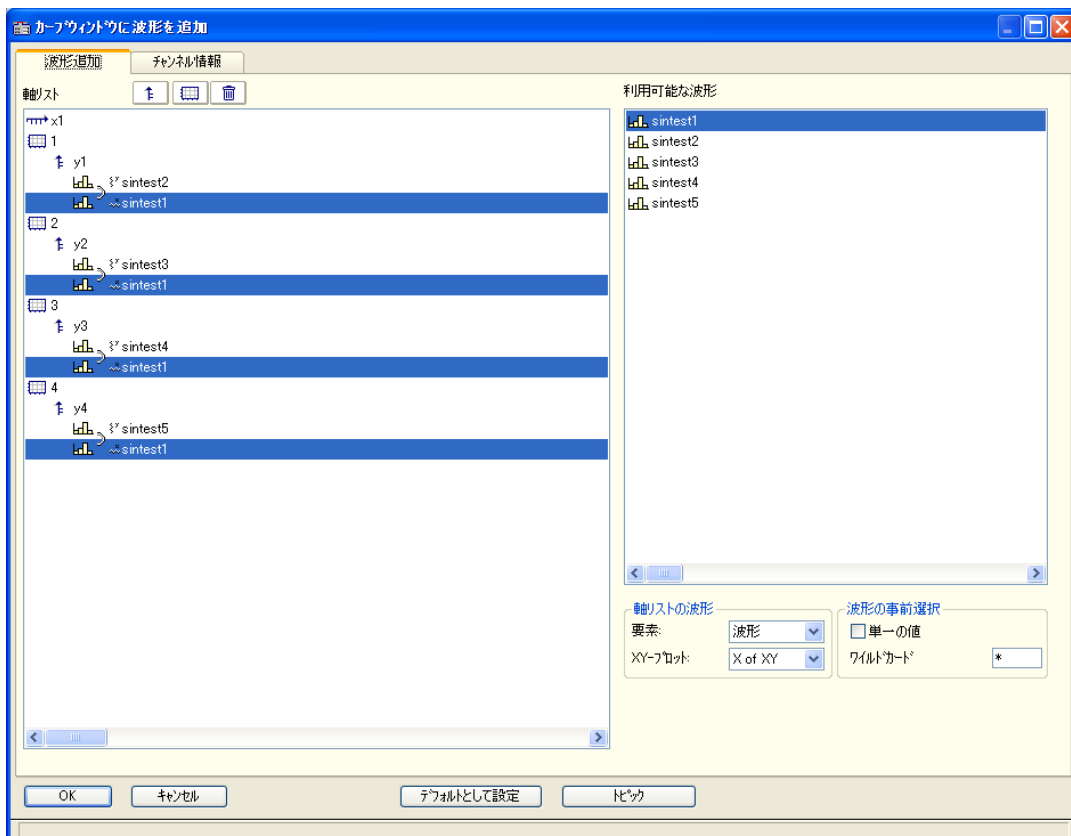
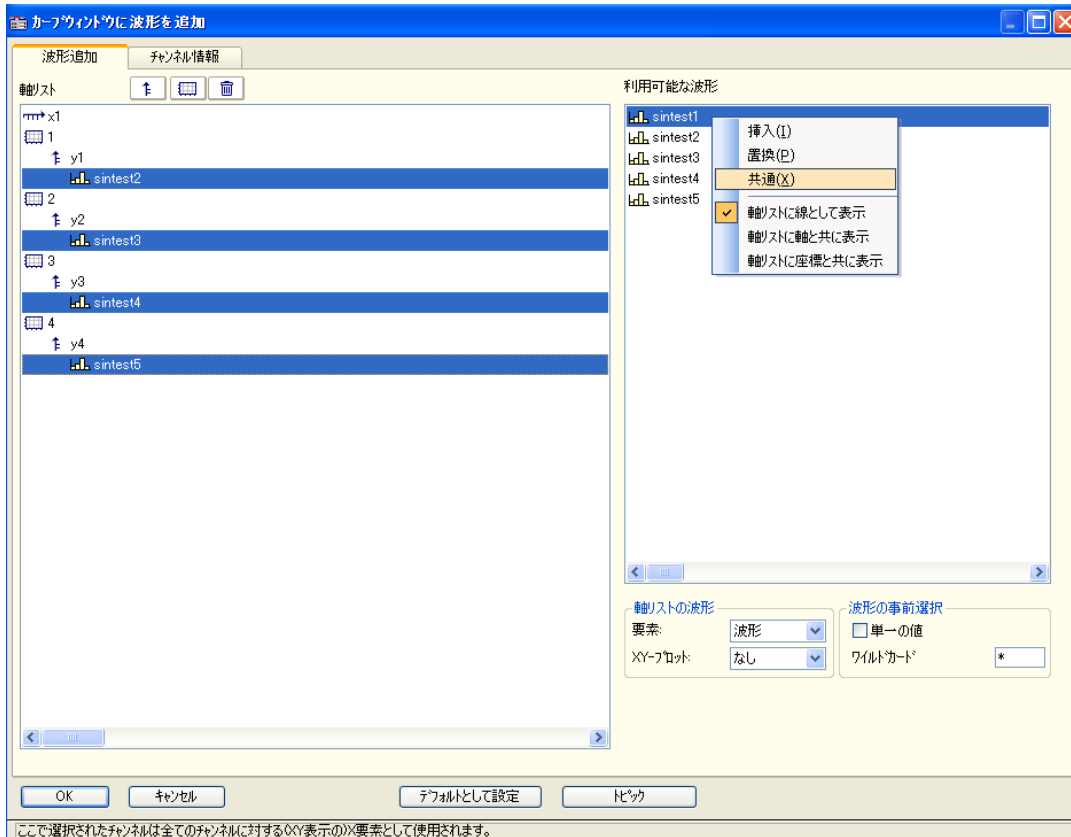
### 1.7.7 ポーラー線図

ポーラー線図の表示が可能になりました。



## 1.7.8 波形の詳細設定

XY波形を指定するための新しいコンテキストメニューが追加されました。



### 1.7.9 その他

- ・波形のセレクションモードを最適化しました。
- ・データブラウザのパネルにフローティングツールバーが表示できるようになりました。
- ・表示するサンプル点数を指定できるようになりました。（例）最後のN点
- ・測定ウィンドウを拡大できるようになりました。
- ・Y軸だけでなく、X、振幅、位相軸に対してもテキストを表示することが可能になりました。